

茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター主催講演会

企画 伊藤哲司ゼミ（社会心理学）、長田華子ゼミ（アジア経済論）、
付月ゼミ（国際人権法）、蓮井誠一郎ゼミ（国際政治学・平和学）

「ウクライナの声 — 苦しみの中でも前に進む—」

講演：コルダエヴァ・アリョーナさん

（キーウ出身。関彰商事勤務。国費留学生として筑波大学大学院で日本のお祭りを研究し修了）

【プログラム】2024年2月21日(水) 人文10番教室
（学長表敬訪問）

10:00～10:05 開会の挨拶（原口）

10:05～10:15 近年のウクライナをめぐる概況（蓮井）

10:15～11:15 講演（アリョーナ）

（11:15～11:25 休憩）

11:25～11:45 質疑応答

11:45～11:50 閉会の挨拶（伊藤）



【報告】

参加：会場約40名、オンライン100名以上。

今年度、社会人リカレントプログラムの「サステイナビリティ学入門」などを受講することで本学に縁ができたことから今回の講演に。あまり報道されない現場の様子が肌感覚で伝わる日本語での講演に加えて、キーウ在住のアリョーナさんご友人（オリヤさん：日本語講師）とのオンラインでのライブでのやりとりも。「ウクライナのことを忘れないでほしい」という切実な言葉に聞き入った参加者は心動かされた。

関彰商事広報部長、筑波大学広報担当も本人の活躍を取材に参加。読売新聞、毎日新聞、東京新聞、NHK、茨城新聞などが取材し報道した。

講演後は手伝ってくれた学生たちや関係教員たちとやりとりする時間を持ち、学生たちからは、ウクライナを知り平和を考える活動を始めてみるという提言がなされた。

